参考様式1

農山漁村活性化プロジェクト支援交付金交付対象事業別概要

(延島東地区活性化計画)

計画主体名	計 画 期 間
たらずけんまやまし 栃木県小山市 だいようとちずけん (代表)栃木県	平成23年度~平成27年度

<連絡先>

へを何んと			
担当課	電話番号	FAX番号	メールアドレス
栃木県小山市役所農村整備課農道整備係	0285-22-9264	0285-22-9258	nouson4@city.oyama.tochigi.jp
栃木県農政部農村振興課	028-623-2363	028-623-2337	noson-sinko@pref.tochigi.lg.jp

【記入要領】

計画主体名 ・市町村名にはふりがなをふること

・共同で作成する場合は、すべての計画主体を掲げるとともに、代表となる計画主体には(代表)と記載する。

計画期間・計画期間は活性化計画の計画期間を記入すること。

連絡先 ・共同計画の場合は行を追加し、全ての計画主体の連絡先を記入すること。 メールアドレス ・当該交付金に係る連絡に利用できるメールアドレスを記入すること。

I 事業活用活性化計画目標

事業活用活性化計画目標	増加率等	増加率等の算出
⑨定住等の促進に資する農業用用排水施設等の機能の確保	20.6 ha	計画区域における農業用用排水施設等の機能の確保(ha) 計画期間内に農業用用排水施設等の整備・保全により条件整備され、機能が確保された 面積=20.6 ha
東業活用活性化計画日煙の設定相伽		

事業活用活性化計画目標の設定根拠
当地区は、水稲・麦・野菜等の穀物及び野菜の生産が盛んであるが、地域内の道路においては、砂利舗装であり凹凸も激しく損耗もひどいため、圃場から集落への生産物の運搬や生産資材の輸送に著しく支障をきたしている。このため農道整備により、条件整備された農地が増加することによって、効率の良い作業形態を確立し、農業生産性を向上させることにより、農業所得を増加させて、農業従事者の意欲を向上させて安定した農業経営を図る。これらの効果により、農家人口、総人口の減少を抑制し、当地域のへの定住化を促進する。

事業活用活性化計画目標	増加率等	増加率等の算出
事業活用活性化計画目標の設定根拠		

【記入要領】

事業活用活性化計画目標

- ・必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。
- ・事業活用活性化計画目標の項目は農山漁村活性化プロジェクト支援交付金実施要領の別紙に掲げる項目から選択するものとする。
- ・事業活用活性化計画目標の記載にあたっては「事業活用活性化計画目標の設定について」により記入すること。

事業活用活性化計画目標の設定について

農山漁村活性化プロジェクト支援交付金を活用するに当たっては、実施要領の別紙に定める事業活用活性化計画目標を設定し、その目標の達成に必要な事業メニューを実施することとする。目標の設定に当たっては各項目毎に以下に定めるところによるものとする。

目標番号	事業活用活性化計画目標の項目及び設定の考え方
1	定住人口の確保 設定する目標は計画区域における転出入割合の増加とし、次により求めることとする。 計画区域における定住人口の確保(ポイント)=(計画期間内の転出入割合(%)(目標)-計画期間前※注3 の転出入割合(%)(現状)) 注1 転出入割合=転入人口÷転出人口×100(四捨五入により小数点第2位まで求める。また、転出人口が「0」の場合は「1」として計算する。) 2 転出入は計画区域の転出入人口 3 計画期間と同じ年数とする。
2	交流人口の増加 設定する目標は計画区域外からの入込客数の増加率とし、次により求めることとする。 計画区域における交流人口の増加(%)=計画期間内の計画区域外からの入込客数(人)(目標)÷計画期間前の※注3計画区域外からの入込客数(人)(現状)×100 -100 注:1 計画区域外からの入込客は、日帰り客だけでなく宿泊客等、全てを含めた入込客とする。 2 四捨五入により小数点第2位まで求める。 3 計画期間と同じ年数とする。
3	滞在者数及び宿泊者数の増加 設定する目標は計画区域内の都市農山漁村交流施設等における滞在者数及び宿泊者数の増加率とし、以下により求めることとする。 計画区域内の都市農山漁村交流施設等における滞在者数及び宿泊者数の増加(%)=(計画期間の滞在者数及び宿泊者数(人)(目標)÷計画期間前※注2の 滞在者数及び宿泊者数(人)(現状))×100-100 注1 四捨五入により小数点第2位まで求める。 2 計画期間と同じ年数とする。 3 計画期間前の滞在者数及び宿泊者数が「O」の場合は「1」として計算する。

	地域産物の販売額の増加
	設定する目標は計画区域において生産された農林水産物の販売額の増加率とし、以下により求めることとする。
4	計画区域において生産された農林水産物の販売額の増加(%)=(計画期間内の地域産の農林水産物の販売額(千円)(目標)÷計画期間前※注2の地域産の 農林水産物の販売額(千円)(現状))×100-100
	注1 四捨五入により小数点第2位まで求める。 2 計画期間と同じ年数とする。
	地域産物の販売量の増加
	設定する目標は計画区域において生産された農林水産物の販売量の増加率とし、以下により求めることとする。
5	計画区域において生産された農林水産物の販売量の増加(%) =(計画期間内の地域産の農林水産物の販売量(t)(目標)÷計画期間前※注2の地域産の農 林水産物の販売量(t)(現状))×100-100
	注1 四捨五入により小数点第2位まで求める。
	2 計画期間と同じ年数とする。 3 地域産の農林水産物の販売量について、その種類が多様であることから合計の増加率を設定することが適当でない場合は本交付金の活用により販売量の増加が見込まれる代表の農林水産物の販売量について記入すること。
	定住等の促進に資する遊休農地の解消
6	設定する目標は計画区域における遊休農地の解消に向けた調査面積とし、以下により求めることとする。
Ū	計画区域における遊休農地の解消に向けた調査面積(ha)=計画期間内の計画区域における遊休農地の実態等の調査対象面積(ha)
	設定する目標は計画区域における遊休農地の解消面積とし、以下により求めることとする。
7	計画区域における遊休農地の解消面積(ha)=計画期間内の計画区域における土地条件整備による遊休農地の解消面積(ha)
	定住等の促進に資する担い手への農地利用集積
	設定する目標は計画区域における担い手への農地利用集積率の増加とし、以下により求めることとする。
8	計画区域における担い手への農地利用集積率の増加(ポイント) =(計画期間終了時の事業実施地区における担い手への経営等農用地面積(ha)÷事業の受益面積(ha))(目標)×100 — (事業実施地区における担い手への経営等農用地面積(ha)÷事業の受益面積(ha))(現状)×100 注1 担い手とは、農村振興局長が別に定める基準に適合する農業者又は農業者の組織する団体とする。
	注: 担い子こは、展竹城県向東が別にためる姿年に過過19 る展末名は展末省の和職りる凹体とりる。 2 担い手への農地利用集積率とは、対象事業の受益面積(ha)に占める担い手の経営等農用地(所有権若しくは利用権に基づき又は農作業受託により 集積された農用地をいう。)面積(ha)の割合とする。(四捨五入により小数点第2位まで求める)
	定住等の促進に資する農業用用排水施設等の機能の確保
9	設定する目標は計画区域における農業用用排水施設等の整備・保全により条件整備され機能が確保された農地の面積とし、以下により求めることとする。
3	計画区域における農業用用排水施設等の機能の確保(ha) =計画期間内に農業用用排水施設等の整備・保全により条件整備され機能が確保された 農地の面積(ha)
	定住等の促進に資する基盤整備の円滑化
10	設定する目標は計画区域における区画整理事業又は交換分合着手までの年数とし、以下により求めることとする。
	計画区域における区画整理事業又は交換分合着手までの年数(年) =事業実施後、区画整理事業又は交換分合の着手までの年数(年)

	定住等の促進に資する農用地の集団化
11	設定する目標は計画区域における分散された農地が集団化される割合とし、以下により求めることとする。ただし、農地が集団化される場合に代えて農村振興局長が別の場合を定める場合には、その割合を目標とし、農村振興局長が別に定めるところにより求めることとする。 計画区域における農地の集団化率(%) = (計画期間前の事業実施地区の団地数一計画期間終了時の団地数)÷(計画期間前の事業実施地区の団地数 一地区内の耕作者数)×100
	注:四捨五入により小数点第2位まで求める。 農山漁村景観を活かした取組の増加
	辰山漁村京観で冶かしに収組の増加
	設定する目標は計画区域における農山漁村景観に関する活動数の増加とし、以下により求めることとする。
12	計画区域における事業の実施を契機とした農山漁村景観の維持・保全・利活用等の活動数の増加数(回) =計画期間内の活動数(回)ー 計画期間前※注1の活動数(回)
12	注:1 計画期間と同じ年数とする。 2 農山漁村景観に関する活動とは、交付対象事業により整備した施設等の保全・維持管理等に関する活動、農山漁村景観の維持・保全に資する 活動及び農山漁村景観の利活用等を行う活動をいう。
	自然環境の保全・再生に向けた取組の増加
	設定する目標は計画区域における環境創造に資する取組数の増加とし、以下により求めることとする。
13	計画区域内における事業の実施を契機とした環境創造に資する取組数の増加数(回) = 計画期間内の取組数(目標)ー計画期間前※注1の取組数
	注:1 計画期間と同じ年数とする。 2 環境創造に資する取組とは、ビオトープの管理活動等の自然環境の保全・再生を目的とした地域住民等による活動をいう。
	定住者又は来訪者の安全確保
	設定する目標は計画区域における一時避難場所の面積の増加率とし、以下により求めることとする。
14	計画区域における一時避難場所面積増加率(%) =計画期間終了時の一時避難広場面積(m²)(目標)÷計画作成時の一時避難広場面積(m²)(現在)×100- 100
	注:四捨五入により小数点第2位まで求める。

注 現状の数値は直近の数値とし、前年度実績等により記入することとする。

Ⅱ 活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標と交付対象事業の関連性

事業メニュー名	地区名	事業内容	事業規模等	実施期間	事業実施主体	全体事業費 (千円)	交付金要望 額 (千円)	交付額算 定交付率	交付限度額 (千円)	活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標との関連性
土地改良施設保全	延島東地区	実施設計	1式 L=1,510m	平成23年度 ~ 平成24年度	小山市	42,000	21,000	1/2	21,000	目標として掲げる安定促進を図る為、農道の整備により条件整備され機能確保された農 地A=13.7haの増加を図る事により、農家人口の減少を抑制し当地域の営農活動安定と 定住化を促進する。
土地改良施設保全	福良地区	実施設計	1式 L=1,200m	平成23年度	小山市	33,000	16,500	1/2	16.500	目標として掲げる安定促進を図る為、農道の整備により条件整備され機能確保された農 地A=6.9haの増加を図る事により、農家人口の減少を抑制し当地域の営農活動安定と定 住化を促進する。
		合 計				75,000	37,500		37,500	

【記入要領】

- ・必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。
- ・創意工夫発揮事業である場合は、事業内容の欄に一体として行う事業メニュー名及び一体的に行う必要性について併せて記載すること。
- ・事業メニューには、実施要領の別表の事業メニュー名を記入すること。
- ・地区名には、事業の実施地区名を記入すること。
- ・事業内容は、整備しようとする具体的な施設の内容を記載すること。
- ・事業規模は、施設毎の棟数と床面積、農道や森林管理道等の場合は地区名と延長など、それぞれの事業内容に応じた事業規模を記載すること。
- ・実施期間は、原則として3年以内とすること。
- ・活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標との関連性は、これら目標を達成する上で、各々の事業の実施が必要な理由を記載すること。

Ⅲ 優先枠等を活用する事業に関する事項

該当なし

(交付対象事業別概要)

1 生産製造連携事業計画優先	井材	ŀ
----------------	----	---

優先枠の種類	事業メニュー名	地区名	優 先 枠 に 係 る 事 業 内 容
1 生産製造連携事業計画優先枠			

2 再生可能エネルギー供給施設整備優先枠

3 輸出促進条件整備事業

優先事項の種類	事業メニュー名	地区名	優 先 事 項 に 係 る 事 業 内 容
3 輸出促進条件整備事業			
3 制山促進末件整備事業			

【記入要領】 ①必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。

- ②優先枠を活用する事業とは、予算の優先枠(生産製造連携事業計画優先枠及び再生可能エネルギー供給施設整備優先枠)の対象となる事業であり、具体的には、要件類別番号32又は要件類別番号33を満たすものがその対象となる。
- ③生産製造連携事業計画優先枠に係る優先枠事業を実施しようとする場合には、全体事業計画のうち、要件類別番号32に係る部分の事業内容について記載すること。
- ④再生可能エネルギー供給施設整備優先枠に係る優先枠事業を実施しようとする場合には、全体事業計画のうち、要件類別番号33に係る部分の事業内容について記載すること。
- ⑤事業メニューには、実施要領の別表1の事業メニュー名を記載すること。
- ⑥地区名には、事業の実施地区名を記入すること。

Ⅳ 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金年度別事業実施計画

						都道府県 コーケン 地団・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・																									全体	計画
			計画の持	新規 変別 新規	都道府県		Į.	計画主体コード(地方公共団体	計画業	ド事	市町村名	名 地区名		地域指定状况					計画期間	事業活用活性化 計画目標		輸出促進条件 整備事業	地域再生計画と の関連	耕作放棄地の 解消に向けた 取組の有無	連携計画優 先枠関係	再生可能エ ネルギー優 先枠関係	重 業 🗴	4				
			出年度	変更	: 名		計画主体名	コード番 号(総務 省))	番号事業ハーソフ	美の別 -ド: 1 ト: 2	10 21 11 12	2524								最終年度	目標番号	増減率等	ポイント ※市町村合計 欄に記入	ポイント※市町村合計欄に記入	ポイント ※市町村合計 欄に記入	関連する事 業は1を記 載	事 関連する事 記 業は1を記 載	番 号	- 事 業 メニュ 一 名 -	要件類分	削事業内容及び 計事業量	実施期間
													山村	過疎特	農半島	離島	豪雪 急怕	沖繩	奄美													
事業	別内容	内訳	H23	1	栃木県	90000	栃木県 栃木県小山市	90000	1	1 1	1 小山市	延島東			1				l			20.6%				1			土地改良施設保全	8	実施設計 一式 道路工 L=1,510m	H23~H24
			H23	1	栃木県	90000	栃木県 栃木県小山市		1	1 2	2 小山市	福良			1							20.6%						9	土地改良施設保全	8	実施設計 一式 道路工 L=1,200m	H23
					1					3	3																					
										4	1																					
										5	5																					
					1					6	3																					
]					7	7																					
										8	3									\angle												
				\angle						9	9					$\perp \perp$				\angle			//									
				\angle						10	0					\perp				\angle			//								1	
				\angle						11										\angle			//									
			_	\angle	_					12						++				\angle			//			_						
			_	\vee						13					-	+				\angle						_						
					15.15		栃太県			14						+			_													
-t- vite		合計(F)	H23		栃木県		栃木県 栃木県小山市 栃木県		1	999	\leftarrow		H	<u> </u>	\times	\cancel{x}	//	\times	$\langle \cdot \rangle$	H27												H23~H24
事業:	沽用沽性化	計画目標等	H23		栃木県	90000	栃木県 栃木県小山市	90000	1	1001			H	//	\times	//	\ll	$\langle \cdot \rangle$	4	$\overline{}$	9	20.6	$\overline{}$									
			\vdash	$\overline{}$	+-					1002			H	\mathcal{H}	\times	\cancel{x}	+	$\langle \cdot \rangle$	\prec	-			-									
			\vdash	+	+					1003			H	\mathcal{X}	\times	XX	+	\times	\prec	$\overline{}$		-	//									
				/	+					1005			H	\mathcal{X}	\times	XX	+	\forall	$\overline{}$	$\overline{}$			//									
			\vdash		+					1006			H	\mathcal{X}	\mathcal{X}	XX	+	H	$\overline{}$	$\overline{}$		-										
①事	業費計(=	(F))	H23		栃木県	90000	栃木県 栃木県小山市	90000	1	2001	\leftarrow		H	\mathcal{X}	+	XX	$\overline{\mathcal{X}}$	//	$\overline{}$	$\overline{}$												
			H23		栃木県		栃木県 栃木県 栃木県小山市		1	1 2002	/		H	\mathcal{X}	\mathcal{X}	XX	$\overline{\mathcal{X}}$	1	$\overline{}$	$\overline{}$												
		創意工夫発揮事			1		伽不県小山巾			1 2003	/ 		1/1	\mathcal{X}	1	/ /	\mathcal{T}	1	$\overline{}$	$\overline{}$												
		附帯事業		1	1					1 2004	/ 		1/1	\mathcal{X}	1	1/	\mathcal{I}	1/	$\overline{}$													
	③ソ ⁷	_ 小事業								2 2005	5		1/1	1	1	1/1	1	1/	$\overline{}$													
		創意工夫発揮事業			1					2 2006	5		1/1	1	1	1/1	1	1/	$\overline{}$													
④市町	打村等附帯事	务費	H23		栃木県	90000	栃木県 栃木県小山市	90000	1	1 2007	,				1	1/1		1/	$\overline{}$													
⑤都這	道府県附帯事	务費	H23		栃木県	90000	栃木県 栃木県小山市		1	1 2008					1	1/1	//															
総合	計(①+④	+⑤)	H23		栃木県	90000	栃木県 栃木県小山市		1	2009	9					1/1																
	うち	ハード事業(②+④+(H23		栃木県	90000	栃木県 栃木県小山市		1	1 2010	0					1/1	$\overline{/}$															
	うち	シソフト事業(③)								2 2011					1	1/1																
共同		成を行う場合の内訳		1/											1/	1/1		1/		/												
	00	事業費(ハー 市町村等附帯事務			1 -					1					1	17			\triangleleft													
		事業費(ソフト								2																						
	××	事業費(ハー 都道府県附帯事務			1 _					1					1	1/			4													
		都道府県附帯事務 市町村等附帯事務								1																						
		事業費(ソフト)		1					2						1/1																

李 大 大 全 体 事業 費 交 付 金額 交 付 額 算 定 を イ 限 度 額 を 付 額 算 定 に 日 本 清 京 を 付 を は 切 り 捨 て) B で に 千 円 未 満 は 切 り 捨 て)				前年』	度まで	本 年 度										での累計	翌年度以降(予定)											
事業実施主	全体事業費 A	(千円り 治スタイプ (千円の)	交付額算定 交 付 率 B	C = A × B (千円未満は 切り捨て)	事業費	交付金額 D	事業内容及び 事業量	事業費	交金(千は切り) (本語)	都道府県 費	市町村費	そ の 他	本年度末 進 捗 率 E	単年度交付限 度 額 C×E-D (千円未満は切り 捨 て)	仕入れに係る消費税相当額	事業費	交付金額	翌年月事業費			24 年 度 交付金額		25 年 度		26 年 度		27 年 度 交付金額	備考
	円	円		円	円	円	p# ====================================	円	円	円	円	円	%	円	円	円	円	円	P	H	H	I F	円	F A R	H F	学 未 員	円	
小山市	42,000,000	+	1/2	21,000,000			実施設計 一式 道路工 L=700m 実施設計 一式	1,200,000					2.9	609,000		1,200,000		40,800,000	20,400,000	40,800,000	20,400,000)			-			
小山市	33,000,000	16,500,000	1/2	16,500,000			道路工 L=1,200m	33,000,000	16,500,000	4,950,000	11,550,000		100	16,500,000	該当なし	33,000,000	16,500,000								-	-		
																									-			
																						-		-	-			
																						-		-	-			
																				1	<u> </u>		<u> </u>	1	+	-		<u> </u>
																										-		
																								-		-		
									\vdash																	-		
																					<u> </u>		<u> </u>	1	+	<u> </u>		
																									 			. <u> </u>
	75,000,000	37,500,000		37,500,000				34,200,000	17,100,000	5,130,000	11,970,000		45.6	17,109,000		34,200,000	17,100,000	40,800,000	20,400,000	40,800,000	20,400,000							
												$\overline{}$																
												$\overline{}$																
												$\overline{}$																
												$\overline{}$																
												$\overline{}$																
	75,000,000	37,500,000		37,500,000				34,200,000	17,100,000	5,130,000	11,970,000			17,109,000		34,200,000	17,100,000	40,800,000	20,400,000	40,800,000	20,400,000)						
	75,000,000	37,500,000	/	37,500,000				34,200,000	17,100,000	5,130,000	11,970,000			17,109,000		34,200,000	17,100,000	40,800,000	20,400,000	40,800,000	20,400,000)						
			/																									
			/																									
			/																									
	750,000			375,000				342,000	171,000		171,000			171,000		342,000		408,000	204,000)						
	822,000			411,000				374,000	187,000	187,000				187,000		374,000		448,000				_						
		38,286,000		38,286,000				34,916,000	17,458,000	5,317,000	12,141,000		/	17,467,000		34,916,000		41,656,000	20,828,000			_						
	76,572,000	38,286,000	/_	38,286,000				34,916,000	17,458,000	5,317,000	12,141,000			17,467,000		34,916,000	17,458,000	41,656,000	20,828,000	41,656,000	20,828,000							
			/_																									
			-																									
			$-\!\!\!/$																									